

第七十四回帝國議會 院 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外二件

委員會會議錄(速記)第二十回

付託議案(審査終了ノモノヲ除ク) 北海道拓殖銀行法中改正法律案 (政府提出) 金資金特別會計法中改正法律案 (政府提出) 臨時資金調整法中改正法律案(政府提出) 國債整理基金特別會計法中改正法律案(政府提出) 明治三十九年法律第三十四號中改正法律案(國債ニ關スル件)(政府提出) 明治四十二年法律第九號中改正法律案(政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル件)(政府提出)

會議

昭和十四年三月三日(金曜日)午前十時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 板谷 順助君

理事松尾 四郎君 理事宇賀 四郎君

理事松木 弘君 理事森 幸太郎君

理事山崎 常吉君

駒井 重次君 遠山 房吉君

大野 一造君 川崎末五郎君

中村不二男君 松田 正一君

深澤 吉平君 金澤 正雄君

野口 喜一君 宮澤 清作君

東條 貞君 田中源三郎君

高島龜太郎君 小見山七十五郎君

平野 力三君 塚本 重藏君

加藤 鏝造君

三月二日國債整理基金特別會計法中改正法

律案(政府提出)、明治三十九年法律第三十

四號中改正法律案(國債ニ關スル件)(政府

提出) 及明治四十二年法律第九號中改正法

律案(政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ

供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル件)(政

府提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 石渡莊太郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 松村 光三君

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提

出)

金資金特別會計法中改正法律案(政府提

出)

臨時資金調整法中改正法律案(政府提出)

國債整理基金特別會計法中改正法律案

(政府提出)

明治三十九年法律第三十四號中改正法律

案(國債ニ關スル件)(政府提出)

明治四十二年法律第九號中改正法律案

(政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供

シタル國債ノ買入銷却ニ關スル件)(政府

提出)

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、金

資金ニ對スル質疑ヲ許シマス

○松尾委員 私ハ此ノ金資金特別會計法ニ

付テ御尋ヲ致シタイノデスガ、第一今此ノ

金資金特別會計ノ現狀ガドウナツテ居ル

カト云フコトヲ聽キタイノデス、是ハ曩

ニ他ノ委員諸君カラモ一應聽イテ居ルヤ

ウニ速記録デハ見エルノデスケレドモ、

ドウモ私ハ少シ頭ニ入ラヌノデ、其ノ現

狀ガドウ云フ狀態ニナツテ居リマスカ、

簡單ニ概要ヲ御知ラセ戴キタイト思ヒマ

ス

○相田政府委員 金資金ノ運用ノ現狀ト云

フ御尋デゴザイマスルガ、實ハ此ノ資金ノ

現狀ヲ申上ゲルコトハ、色々憚ラレル點ガ

ゴザイマス次第デアリマス、ト申シマスノ

ハ、金ヲ外國ニ送出手場合ニ於キマシテハ、

是ガ外國ニ分ルコトハ已ムヲ得ナイノデア

リマシマスガ、現在金資金ガ幾ラ金ヲ持つテ居

ルカト云フコトヲ公表致シマスコトハ、謂

ハバ經濟戰ニ於ケル軍備ノ内容ヲ公表スル

ヤウナコトニナラウカト存ゼラレマスノデ、

現狀ニ付キマシテハ、實ハマダ何處デモ申

上ゲテ居リマセヌ、本委員會ニ於キマシテ

モ、前ニ昭和十二年度末ノ運用狀況ヲ御説

明申上ゲタノデアリマスルガ、其ノ後ニ於

キマシテ、金ヲ賣ツタリ買ツタリ致シテ居

リマスノデ、常ニ増減致シテ居リマス、國

債、興業債券其ノ他ハ餘リ大シク變化ハゴザイマセス、産金振興株式會社ノ株式拂込一千萬圓ガ、其ノ後附加ツテ居ルノガ新シイ運用デゴザイマスガ、其ノ他ニ於キマシテハ、金以外ニ餘リ大シク變化ハナイ、斯ウ御承知ヲ願ヒタイノデゴザイマス、甚ダ要領ヲ得ヌノデゴザイマスガ、外國爲替平衡資金ナドニ付キマシテハ、何處デモ内容ハ分ラナイヤウニナツテ居リマスシ、此ノ

金資金特別會計法ニ於キマシテモ、實ハ其ノ組立ノ現狀ガ外カラハ分ラヌヤウニト云フ趣旨デ出來テ居リマス、甚ダ遺憾デハゴザイマスガ、現狀ヲ申上ゲルコトハ御許ヲ願ヒタイト存スルノデアリマス

○松尾委員 ソレハ御尤ナコトデゴザイマス、私ハ實ハ金ノ狀態ヲ御聽キシタイ考デハナカツタノデアリマシテ、十二年度末ノ運用狀況ガ、特別會計ノ決算ノ書類カニ出テ居リマスノデ、其ノ後一年經過致シマシタ結果ニ付テ、外部ニ發表セラレテモ宜イ事柄ヲ聽キタイ考デゴザイマシタ、金ノ現在ノ狀況ト云フ意味デハナイノデゴザイマス、特別會計ノ狀況ヲ聽キタイ考デアツタノデアリマス、ソレハ御無理ナコトト思ヒマスカラ、其ノ點ハ其ノ程度ニ致シテ置キマス、今回ノ改正ニ依リマシテ、勅令デ一二三四

ト四項目ヲ定メラレ、其ノ方ニ運用出來ルコトニナツテ居ル、今特別會計ガドノ位此ノ方面ニ運用出來ル餘裕ガアル狀態デアルカト云フコトハ、金ト直接關係ノナイコトデアリマスカラ、御聽キ出來ルト思ヒマス、特別會計ノ此ノ方面ニ運用出來ル金ハ發表シテモ差支ナイト思ヒマスガ、發表シテ惡イコトデアレバ、別ニ強ヒテ御聽キスル考ハゴザイマセス

○板谷委員長 一寸速記ヲ止メテ……

○松尾委員 ソレデハ宜シウゴザイマス、ソレガ秘密事項ニナツテ居レバ強ヒテ伺ヒマセス、次ニ産金振興株式會社ノ方ニモ貸付ケルト云フコトデアリマスガ、貸付ケル以上バ、回收出來ル確實ナ見込ガアツテ貸スノデスカ、政府ノ貸金ニ對シテハ御貸シ下サルト云フノデ、貸シタモノヲ呉レタヤウニ思ツテ居ルコトガヨクアルノデアリマス、

○石渡國務大臣 勿論回收ガ確實デアル場合ニ貸スノデゴザイマシテ、貸シタ貸金ガ返ラナイト思フ者ニ、決シテ貸サナイコトハ御承知ノ通りデアリマス、此ノ金資金ノ金

ハ、決シテ不堅實ナ者ニ貸スコトハゴザイマセヌ、返ス見込ノ確實ナ者ニ貸ス豫定デゴザイマス、利率ノ問題デゴザイマスガ、利率ハ先ヅ普通ノ社債並ニ貸シテ居ルモノモアルノデゴザイマス、是ハ唯一時金資金カラ金ヲ借り、ソレヲ又人ニ貸ス、産金會社ガ金資金カラ金ヲ借りテ、其ノ金ヲ第三者即チ實際ニ金ヲ掘ル産金業者ニ貸スノデゴザイマス、其ノ金資金ノ金ヲ、普通ノ社債ト同様ニ四分三厘デ産金會社ニ貸シマス

ト、産金會社ハ其ノ金ヲ貸スノニ、ソコニ幾ラカノ危険率ヲ見マスカラ、四分五厘トカ四分六厘デ貸スコトニナリマス、併シ借リル方デハ、ソレデハ寧ロ市場デ金ヲ借リタ方ガ安イノデ、産金會社ニ金ヲ借リニ來ナイ、興業銀行ハ行ケバ四分三厘デ借リラレルノデ、産金會社ガ金資金カラ四分二厘ノ金ヲ借りテ、ソレヨリモ高ク貸スノデハ、

中々借リニ參リマセヌ、又、市場デ金ヲ借リラレルヤウナ産金業者ハ、市場デ金ヲ借リテシマヒ、市場デ金ヲ借リラレナイヤウナ小産金業者ハ、寧ロ少シ危イト思ハレルヤウナモノデ、産金會社トシテモ資金ノ運用ニ頗ル困難スルト思フノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ、今後必要ニ應ジマシテ、普通ノ市場ニ於テ發行サレル四分三厘等ノ

金ヨリモ、幾ラカ安イ金ヲ金資金デ貸サナケレバ、産金會社ガ第三者ニ貸セナイノデハアルマイカト思ツテ居リマス、サウ云フ場合ニハ、更ニ金利ノ低イ金ヲ貸ス方ガ至當デハアルマイカト考ヘテ居リマス

○松尾委員 ソコデ私ハ大臣ガサウ云フ金融ノ關係ニ付テ御諒解ニナツテ居リマス點ヲ承リマシテ、私モ大臣ガ十分此ノ事業ノ仕事ノ上ニ御諒解ノアルコトヲ承知致シマスケレドモ、此ノ資料ヲ見マスト、産金振興會社ガ貸出シテ居ル先ハ、九十何件カノ名前ガ掲ゲラレテ居リマス、堂々タルモノデス、立派ナモノデス、偉イ人ガアツテ、

金ナンカ借リナイデモヤレルヤウナ額觸デス、併シ此ノ内容ガ分リマセヌ、ドレダケノ金額ヲ借ツテ居ルカ分リマセヌスケレドモ、之ヲ返サナケレバナラヌ義務ガアルノデアレバ、ドウモ態、斯ウ云フ金ヲ使ハナイデモ宜イト思ヒマスカラ、返スコトハ要ラヌノダト云フ風ニ考ヘテ居ルノデヤナイカト思フノデス、ソコデ私ハヤハリ是ガ返スモノデアルト云フコトデ、業者ハ無論サウ云フ考デ借リテ居ルト思フノデス、ソコデヤハリ是等ノ人ガ借リタ金ニ對スル返還ノ請求ヲ受ケレバ、返サナケレバナラヌト思ヒマスカラ、事業ハ別ニ此ノ金融ニ依ツテ

増産サレテ行ク方ニ促進シテ行クト云フ條
件ニナラヌト思フノデス、ヤハリ唯一ツノ
採算ノ範圍ヲ出デナイ、今日ノ我國ノ資
源ノ増産ハ現状ヨリモ増産スル、益、増額ス
ルト云フコトニ非常ナ苦心ガ拂ハレテ居ル
ト思フノデス、ソコデ私ハ産金會社ガ政府
ノ金資金特別會計カラ金ヲ借りテ來テ、中
間デ金貸シヲシテ居ルト云フヤウナコトダ
ケナラ、此ノ産金振興會社ト云フノハ何ノ
用ニナルカト思フノデス、ソレヨリモ此ノ
産金振興會社自體ガ何カヤハリ直接仕事ヲ
ヤルト云フコトニ、御努力ニ相成ル必要ガ
アルデヤナイカト思フノデス、是同様ニ
獨リ金ノミナラズ、他ノ礦物モヤハリサウ
云フ風ニ自體ガ仕事ヲヤレルモノデナケレ
バ——現在ノ礦業界ヲ見マスルト、ヤハリ
採算ノ範圍ヲ出デナイノデアリマスカラ、
大キナ礦業會社ハ獨占ノ設備及ビ地位ヲ
占メテ居リマシテ、小礦業者ナンカト云フ
モノハドウモ採算ガ合ハヌノデス、ソレガ
爲ニ礦業ノ進展ハ非常ニ遅レテ居ルト思フ
ノデス、若シ之ヲ政府自體ガ斯ウ云フモノ
ニ對シテハ運賃モ只ニシテヤル、又製鍊費
ニ對シテモウント低廉ニスル、其ノ他技術
者ヲ派遣スルト云フヤウナコトニ力ヲ
入レテ、直接此ノ仕事ヲヤラスヤウニ爲

サツダナラバ、非常ニ是ハ増産スルト
思フノデス、コンナ風デアレバ、モウ金
貸ダケノ取次ヲシテ居ルノデスカラ、産
金振興會社其ノモノハ、會社ノ收支計算ニ
於テハ儲カルデセウ、當然其ノ間ニ利鞘ヲ
取ルノデスカラ、儲カルコトト思ヒマスカ
ラ、産金振興會社其ノモノハ危險性アリマ
セヌケレドモ、其ノ代リニ増産出來ナイ、
併シ大藏大臣ハ我國ノ資源ノ増産ニ付テハ、
一方ナラヌ御配慮ヲナスツテ居ラレル、今
度産金法ト云フモノヲ改正セラレマシテ、
民間ノ金ヲ強制シテ之ヲ政府ニ吸收スルト
云フ方途ニモ出テ居ラレマス、色々御苦心
ノアル點ハ分リマスガ、アレダケノコトヲ
オヤリニナルト云フ位ナラバ、一ツ劃期的
ナコトヲヤラストイカスト思フ、其ノ劃期
的ナコトハ何カト云フト、直接政府自ラ仕
事ヲ爲サルト云フコトニ、モウ一步御進ミ
ニナラヌト本當ノ成果ガ擧ラヌ、斯ウ考ヘ
ルノデスガ、ソレニ對シテハドウ云フ御考
ヲ持タレマスカ、一ツ伺ヒタイ

○石渡國務大臣 産金會社ノ今日貸出シテ
居リマスル金ハ、是ハ産金振興株式會社ノ
設立前ニ、興業銀行デ既ニ産金ニ相當金ヲ
貸シテ居ツタモノガゴザイマス、ソレヲ産
金振興會社ガ出來タ場合ニ肩替リシテ引受

ケテ出ル、斯ウ云フ約束デ貸シテ居ツタモ
ノデアリマスノデ、ソレヲ肩替リシテ引受
ケマシタモノガ、今日ノ産金振興會社ノ金
ヲ貸シテ居リマスルモノノ大部分デアルト
私ハ承知シテ居リマス、産金振興會社ガ金
ヲ貸スト云フコトハ、是ハ最初カラ産金振
興會社ノ一ツノ大キナ役割デゴザイマシテ、
此ノ會社ハ主トシテ産金事業ニ十分ナル資
金ヲ供給スル、サウ云フ使命ノ下ニ生レタ
會社デゴザイマスノデ、隨テ今後ニ於テモ
産金會社ノ最モ重大ナル使命ハ、一般産金
會社、殊ニ中小産金會社、金ニ相當窮乏ヲ感
ジテ居ル所ノ産金會社ニ資金ヲ供給スル、
サウ云フ専門ノ會社デアリマスノデ、資金
ノ供給ト云フコトニ付キマシテハ、今後ト
モ此ノ會社ハ其ノ方面ニ活躍スルコトト思
フノデゴザイマス、最初カラ此ノ會社ハ金
ヲ掘ル會社デハゴザイマセヌ、唯事業ト致
シマシテハ、此ノ會社ガ産金ヲ振興スル上
カラ致シマシテ、各種ノ必要ナ器具機械ノ
販賣ノ斡旋ヲスル、是ガ一ツノ大キナ使命
デアルト思ツテ居ルノデアリマス、其ノ他
御承知ノ通り各地ニ小規模ノ製鍊所ヲ設ケ
マシテ、此處ニ中小ノ産金業者ノ金礦ヲ集
メテ製鍊ヲスル、斯ウ云フコトガ一ツノ大
キナ使命デゴザイマシテ、其ノ方向ニ向ツ

テ目下ソレノ計畫致シテ居ルノデアリマ
ス、ソレト今一ツハ探礦デゴザイマス、此
ノ探礦ノ仕事ニ付テモ相當骨ヲ折ル、是ガ
此ノ會社ノ使命デゴザイマシテ、又サウ云
フ要求カラ生レタモノデゴザイマシテ、隨
テ此ノ會社ガ自身デ金ヲ掘出スト云フコト
ハ、是ハ此ノ會社ノ使命デハゴザイマセヌ、
今御話ノゴザイマシタ、此ノ會社ガ進ムデ
自分ガ金ヲ掘ツタラドウダ、ソコマデ行カ
ナケレバ徹底シナイノデアアルマイカ、斯
ウ云フ御話デゴザイマスルガ、是ハ既ニ今
日金礦ニ付キマシテハ、ソレノ熱心ニ各
金山ノ經營者ガ掘ツテ居ルノデゴザイマシ
テ、唯ソレニ補助的ナ金ヲ貸ストカ、又ハ
器具機械ヲ斡旋スルトカ、製鍊所ヲ設ケル
トカ、探礦スルトカ、サウ云フ助成的ノコ
トヲ此ノ會社ガ主トシテヤリタイ、斯ウ云
フコトデ出來タモノデゴザイマシテ、自分
デ金ヲ掘ルト云フコトヨリモ、實際問題ト
シテハ、斯ウ云フ方面ニ進出シテ行ク方ガ、
ヨリ多ク産金業ノ爲ニ宜クハアルマイカ、
斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○松尾委員 ソレデハ産金振興會社ハ、ヤ
ハリ既存ノ事業ヲ援助スルト云フ建前ニア
ルヤウナ御意見デゴザイマシテ、私ハモウ
一步進ムダ方ガ宜イト思ヒマスガ、其ノ點

ハ議論ニナリマスルカラ、其ノ程度ニ置キマシテ、今大臣ノ御話ノ中ニ、ヤハリ探鑛ニモ力ヲ入レサスコトモアルト云フ、探鑛ト云フノハ御承知ノ通り、是ハ探鑛ニ入レル資金ト云フモノノ回收ハ殆ド考ヘラレナイ、其ノ金ハ返ツテ來ナイト云フコトニ考ヘテ置カナケレバナラナイノデアリマス、此ノ産金振興會社ガサウ云フモノニ金ヲ入レルト、收支計算ガ悪クナツテ、結局赤字ガ出ルヤウナ決算報告ニナツタ場合、政府ハソレニ對シテ所謂金資金特別會計法カラデモ費用ヲ出スト云フ建前ニナツテ居ルノデゴザイマスカ、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○石渡國務大臣 此ノ會社ガ探鑛ヲヤリマスコトニ依ツテ——今松尾サンノ仰シヤツタヤウニ返ツテ來ナイ金ガ多イト思ヒマスガ、是ハ此ノ會社ノ儲ケガ相當アル見込デアリマスカラ、其ノ儲ケノ中カラ支出スル、斯ウ云フコトニナルノガ先ツ普通デアルト思フノデアリマス、併シナガラ此ノ會社ハ國策會社デゴザイマスノデ、損ノアリマシタ時分ニハ、政府ニ於キマシテ一定限度マデ之ヲ補償スルヤウナコトモ致シテ居ルノデゴザイマス、更ニ是ハ探鑛バカリノ問題デハゴザイマセスガ、或ハ政府ガ命令ヲ以テ斯ウ云フコトヲシロト云フヤウナ場合モアル

カト思フノデゴザイマスガ、ソレ等ノ損失ニ付テ、或ハ更ニ松尾サンノ仰セニナラレタ通り、一步進ンデ考ヘル必要モアルカト存ズルノデゴザイマス、其ノ點ニ付キマシテハ目下商工、大藏兩省ニ於テ協議中デゴザイマス、協議ガ纏マリマスレバ或ハ本會議ニ更ニ法律案ヲ提出致スカモ知レマセヌガ、今日ノ所マダソコマデハツキリ致シテ居リマセヌ、仰セノヤウナ點ニ付テハ目下協議ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス

○松尾委員 協議中デアルト云フコトデアリマスルナラバ、是非トモ其ノ趣旨ニ合ヒマスルヤウニ御協議ヲ進メテ戴クコトヲ希望致シマス、今回ノ改正ノ要旨ハ、金資金ノ運用ニ關スル勅令ヲ定メラレル、此ノ勅令ハ金増産ト云フ方面ニハ殆ド没交渉ノヤウナコトニナツテ居リマシテ、本來金資金特別會計ヲ設定シタ時ノ趣旨トハ少シ變ツテ居ルト思フノデス、ヤハリ金資金特別會計ニ於キマシテ、金ノ増産ニウント力ヲ入レヤウデヤナイカト云フコトガ、當初ノ思ヒ立チデハナイカト思ヒマスノデ、ドウカ其ノ方面ヲ忘レナイヤウニ此ノ増産ニ付テ劃期的ニ思切ツテ何カ御考ニナラナケレバ、餘リ線ノ細イコトバカリヤツテ居ツテハ、私ハ此ノ非常時ニ成果ヲ得ルノハ非常ニ遠

イ將來デアアル、ノミナラズ大キナコトヲ期待出來ナイト考ヘマスノデ、賢明ナル大臣ニ於カレマシテハ、無論吾々ガ申上ゲルヨリモ御考ニナツテ居ルト思ヒマスケレドモ、ドウカ斯ウ云フ非常時デアリマスカラ、一ツ思切ツテ或ル程度マデ國家ノ立場カラ、採算ヲ外シタヤウナコトモ御考ニナラレルコトガ宜イノデヤナイカ、他ノ事ニ付テ私ハサウ云フ經濟ノ原則ヲ外シタコトヲ獻言スル意味デハアリマセヌケレドモ、此ノ資源ヲ開發スル上ニ於キマシテハ、或ル場合採算ヲ度外視シナケレバナラヌヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌカト思フノデゴザイマス、私ハ是ダケ申上ゲマシテ終リマス

○塚本委員 一寸關聯シテ……今松尾サンノ御意見至極御尤ト思ヒマスガ、積極的ニ増産ヲ圖ル方法ヲ講ゼヨト云フ御意見デゴザイマシタカラ、其ノ點ニ付テ此ノ際一寸御伺シテ置キタイノハ、七十三議會ヲ通過致シマシタ重要鑛物増産法ニ依リマシテ、増産命令ヲ出サレタコトガアルヤウニ聞イテ居リマスガ、其ノ事情ト、ソレカラ尙ホ此ノ重要鑛物増産法ニ基キ、鑛區ノ改善擴張ノ爲ニ合併等ノ強硬手段ヲ講ゼラレタコトガアリマセウカ、此ノ重要鑛物増産法ヲ

ノ事情ヲ御聽シタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 重要鑛物増産法ニ付キマシテハ、是ハ商工省ノ所管事項デゴザイマシテ、大藏省ハ關係致シテ居リマセヌノデ、實ハ私ハツキリ存ジマセヌガ、此ノ重要鑛物増産法ヲ適用スルニ付テハ、實際上ノ困難ガ中々アルヤウデゴザイマス、私モソレガドノ程度ニ増産命令ガ發セラレテ居ルカハツキリ存ジマセヌガ、餘リ大シテ發セラレテ居ラナイヤウニ聞イテ居ルノデゴザイマス、之ヲ運用シテ増産シロト云ヒマシテモ、實際ハ増産スルニ人モナイ、金モナイ、物モナイ、一體ドウシテ増産スルノダト云フヤウナ問題ニ、屢々蓬著シタカノ如ク聞イテ居ツタノデゴザイマスガ、詳細ハ商工省ノ政府委員カラ御聽ヲ願ヒタイト思ヒマス

○塚本委員 所管違ヒデアルカラ十分御答ガ出來ナイト云フコトデアリマスガ、今ノ松尾サンノ積極的ニ何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラヌデハナイカト云フ御話ニ付テハ、私ハ重要鑛物増産法ヲ積極的ニ發動サセルコトガ宜イノデハナイカト考ヘタノデ御聽致スノデスガ、大藏省ニ於キマシテモ商工省ト協力セラレテ、折角出來タ法律デアリマスカラ、之ヲ有效ニ發動セラレテ、金ノ増産ヲ圖ラレルヤウニ御盡力願ヒタイ

ト思ヒマス

○石渡國務大臣 一寸申添へテ置キマスガ、重要鑛物増産法ハ金ヲ除外シテ居ルト思ツテ居リマス、隨テ金ニ對シマシテ産金法デ行クヤウニ私ハ承知致シテ居ルノデゴザイマス

○東條委員 金ノ増産ノ重要ナコトハ申上ゲル必要モナイコトデゴザイマス、尙ホ今伺ツテ居リマシテ、大藏大臣モ金ノ増産ノ爲ニハ非常ニ考慮サレツツアルコトモ承知ヲ致シマシタ、御忙シイヤウデアリマスカラ、極ク簡單ニ二ツバカリノ問題ヲ伺ツテ見タイト思ヒマス、金ノ増産ニ國家ノ強制力ヲ働カセルコトガ困難デアルト云フコトハ、商工當局カラ御答ヲ得テ承知ヲ致シマシタ、ソコ産金業者ト協力シテ増産ヲ圖ラネバナラス、斯ウ云フコトニナツテ參ルノデアリマス、ソレニハ色々ナ障碍ガアリマセウ、或ハ物資トカ、或ハ人トカ云フヤウナ方面ノ障碍ヲ除クコトモ必要デアリマスガ、ソレト同時ニ税法ノ改正ヲセンケレバナラスト云フ所ニ逢著シナイカト思フノデアリマス、他ノ製造工業ノ如キハ、他カラ原料ヲ持ツテ來テ、ソレニ加工ヲシテ行クノデアリマスルガ、産金ノ方ハ二ツニ分レル、他カラ鑛石ヲ持ツテ來テ、即チ原料ヲ買入

レテ製鍊ヲ致シマスル仕事モアリマス、ケレドモ大部分ハ自分ノ持ツテ居リマスル財産ヲ原料トシテ直グ使フノデアリマス、丁度森林ヲ持ツテ居リマスル者ガ、木ヲ伐ツテ賣出スノト同ジデアリマシテ、今斯様ナ場合ニ國家ニ奉仕スル爲ニ、或ル程度ノ犠牲ハ忍ンデモ、ドン／＼ト急速ニ産金ヲ致サンケレバナラス、此ノ場合ニ於テ其ノ採掘製鍊トカ云フ仕事ノ上ニ於テノ犠牲ヲ拂ヒマスルト同時ニ、持ツテ居レバ長イ間ニ最モ經濟的ニ利用シ得ル財産ヲ、ヤハリ犠牲的ニ使ハナケレバナラスト思フ、斯ウ云フコトニナツテ參リマスカラ、他ノ原料ヲ仕入レテ使フト云フ製造工業トハ違ヒマシテ、此ノ點ニ付テ餘程考慮ヲ拂ツテヤリマセスト、此ノ場合爲シ得ル増産モ自然手控ヘラレルト云フ形ニナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ付テ大藏當局トシテ何か御考ヲ持ツテ居ラレマスカ

○石渡國務大臣 御尤ナ點モアルト思フノデゴザイマシテ、實ハ昨年夏以來産金業者ト屢、其ノ點ニ對シテ意見ヲ交換致シタノデゴザイマス、ソレデ結局金鑛ヲ此ノ際餘計ニ掘出スト云フコトニ付テ、其ノ金山ノ生命ガ五十年アルモノガ或ハ十五年ニ、或ハ二十年ニ減ル、ソレニ對シテ稅務署ガ其ノ

金鑛ノ減價償却ヲ五十分ノ一ツツ見積ルトカ云フコトデハ、ソレハ金鑛自體ノ生命ガ減少シツツアルノデ、從來ノヤウナ償却デハ連モヤツテ行ク譯ニハ行カヌト云フ話ガアツタノデアリマス、ソレデ此ノ點ハ主稅當局ト金山經營者トノ話合ノ結果、其ノ點ハ非常ニ寛大ニ扱フコトニ致シタノデアリマシテ、山ノ持主ガ是デ自分ノ方ハ幾年ノ壽命ガ縮ツテ來ル、斯ウ云フコトガ尤デアルト見ラレマシタ場合ニハ、當業者ノ計算ニ大體據ラウト云フコトニ致シマシタ、此ノ點ニ付キマシテハ當業者モ非常ニ満足致シマシテ、サウ云フヤウナコトナラバ自分ノ方ハ幾ラデモ掘レルカラ、其ノ金山ノ壽命ノ償却ト云フコトニ付テハ、斯ウ云フコトデアカウト云フコトデ話合ツタ次第デアリマス、ソレカラ其ノ他器具機械等モ、此ノ際餘計ニ掘ルト云フコトデ、從來ヨリモ減耗率ガ非常ニ餘計デアル、サウ云フ減耗率ニ付テモ十分考ヘテ欲シイト云フコトデアリマシタノデ、此ノ點モサウ云フ風ニ致シタイ、斯ウ云フコトノ打合セラ致シマシタ、ソレデ先般豫算總會等ニ於キマシテ、金ノ所得稅トカ、臨時利得稅トカ、サウ云フ稅金ヲ一切免除シタラドウカト云フ話モアツタノデアリマスガ、是ハ又頗ル影響スル所

ガ多イノデアリマシテ、今日金山ヲ會社デヤツテ居リマスモノモ、隨分小サナ會社デモ皆一割以上ノ配當ヲシテ居ルノデアリマスカラ、是等ノモノハ所得稅モ營業稅モ何モ拂ハナイデ、自分等ノ儲ケ次第幾ラデモ儲ケルノダト云フコトデアリマシテハ、是ハ社會全體ニ及ボス影響ガ如何カト思フノデゴザイマシテ、所得稅、營業收益稅等ヲ免除致ス考ハゴザイマセヌ、考ハゴザイマセヌガ、サウ云フヤウナ合理的ノ方面、當業者ノ最モ苦痛トスル所ノ、之ヲ合理的ニ解決致シ得ル所ノ方面ニ於テハ、是ハ從來モ考ヘテ居リマシタシ、又今後ニ於キマシテモ十分考ヘテ行キタイト存ジマス

○東條委員 ソレカラ資金ノ運用ニ關シテデアリマスガ、御承知ノ預金部資金ナドハ確實デ有利ト云フヤウナコトニナツテ居リマシテ、此ノ運用ニ付キマシテハ、會計檢査院アタリモ隨分ヤカマシイ監督ヲシテ居ラレルヤウデアリマス、此ノ金資金ノ運用ニ付キマシテハ、預金部資金ノ運用ナドトハ餘程運用ノ方針ガ變ラナケレバナラスト思フノデアリマス、最前松尾君ノ質問ニ對スル御答辯デモ、此ノ資金ノ運用ノ——詰リ金利ガ高ケレバ、有力ナル實效ヲ擧ゲ得ル方面ニ、産金會社ヲ通ジテ此ノ資金ヲ運用

スルコトが困難デアルカラシテ、ヤハリ一
流會社ガ市場デ募集シ得ル程度デ、産金會
社カラ融通ヲ受ケルコトガ出來ルヤウデナ
ケレバナラヌト云フコトハ、大藏大臣モ御
認メニナツテ居ルヤウデアリマスガ、根本
ニナリマスル此ノ金資金ノ運用方針ニ付テ
ノ御考ヲ伺ツテ置キタイト思マノデス、ソ
レニ依ツテ詰リ金資金ガ産金ノ増加ト云フ
コトニ、有效適切ニ利用シ得ルカ否ヤト云
フコトガ決マルコトニナルデアリマス、
ソレニ對シテノ御見解ナリ御考ナリヲ伺ツ
テ置キタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 預金部カラモ運用致サレ
ナイコトハナイト思フノデゴザイマスガ、
此ノ金資金特別會計ハ一面ノ使命トシマシ
テ、産金振興ノ爲ニ金ヲ貸スコトガ出來
ル、運用スルコトガ出來ル、斯ウナツテ居
ルノデゴザイマスルノデ、金資金特別會計
カラ此ノ産金振興資金ト云フモノヲ出シテ
居ルノデゴザイマシテ、將來モ此ノ會計カ
ラ出シタイト思ツテ居リマス、出シタイト
思ツテ居リマスルガ、此ノ有利確實ト云フ
コトハ、先ツハ金ヲ貸シマス時ノ總テノ
原則デアルト思フノデアリマス、併シナガ
ラ此ノ金ニ金ヲ貸スコトデアリマスルノデ、
國策デゴザイマスカラ、サウ別ニ有利デナ

クトモ、是ハ別ニ人カラ預カツテ居ル金デ
モゴザイマセヌノデ、確實ニ貸セレバソレ
デ宜イノデハアルマイカ、斯ウ思ツテ居リ
マス

○東條委員 大體承リマシタガ、今ノ點少
シ明瞭ヲ缺クト思フノデス、今伺ツタノハ、
預金部資金ガ確實有利ト云フヤウナ方針デ
運用サレマスルノデ、隨テ有利ト云フコト
ノ爲ニ、率モ餘リサウ下ゲル譯ニモ行カヌ
場合ガ多イ、併シ此ノ金資金ハ目的ガ目的
デアリマスルカラシテ、率ナドハウシト低
ク御出シニナツテモ宜イデヤナイカト云フ
コトヲ御尋シタノデアリマス、御提示ノ資
料ニ依リマスルト、特殊銀行會社ニ對スル
融資ハ最低ガ二分、最高ガ七分何ボト云フ
コトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、二分
ナント云フモノハ、或ル救済ヲ含ンダ特別
ノ場合デアリマセウケレドモ、今日大藏大
臣ガ最モ御苦心ニナツテ居リマスル有ユル
問題ハ、此ノ金ノ増産ニ依ツテ大抵ハ解決
ガ付クト云フ位ニ、根本的ノ重要ナル事柄
デアリマスルカラシテ、此ノ産金振興ト云
フ上カラ效果アリト認メマスル産金會社ニ
對スル貸付ニ付テハ、最低ノ利率デ御出シ
ニナリマシテ、サウシテ産金會社ノ資金ハ
中小ノモノニ主トシテ運用サセルノデア

ト云フヤウナ御答辯モ、商工當局カラデシ
タカ、アツクヤウデアリマスガ、中小ノ方
面ニモ潤澤ニ資金ヲ充ガハナケレバナリマ
セヌケレドモ、更ニ大キイモノモ此ノ金ヲ
利用シ得ルヤウニナレバナナル程、産金ノ振
興ト云フ目的ヲ達スル譯ナノデアリマス、
金資金運用ノ場合ニ於テ、少クトモ最前申
シタ通り、産金會社カラ貸出シマスル場合
ニ於テ、或ル利鞘ヲ見テ貸出シマスル場合
ニ於テモ、少クトモ一流會社ガ市場カラ募
集シ得ル利率以下デ、貸出スコトガ出來ル
ヤウニオヤリニナルコトガ出來ルカドウカ、
サウ云フ御方針デアアルカドウカト云フコト
ヲ御確メシテ置キタイト思ヒマス

○石渡國務大臣 一流會社ガ市中デ借りラ
レルヨリモ、低利ト云フコトマデ行クカド
ウカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ多少
疑問ガアルト思ヒマスガ、少クトモ一流會
社ガ市中デ金ヲ借りラレルト同ジ程度ノ金
ヲ、産金會社ガ貸シ得ルヤウニハシタイト
存ジテ居リマス

レマセヌノデ、此ノ場合金資金ノ法案ニ對
スル質疑ヲ打切ツタコトト看做シテ宜シウ
ゴザイマスカ
〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ

○板谷委員長 御異議ナイト認メマス、尙
ホ大藏大臣ニ對スル御質問ガアリマシタナ
ラバ、此ノ委員會ニ大藏省關係ノ法案モ相
當ニ廻ツテ居ルコトデアリマスカラ、其ノ
機會ニ御譲リヲ願ヒタイト思フノデアリマ
ス
○松尾委員 此ノ金資金ニ關スルコトト、
ソレカラ北海道拓殖銀行法ノ改正案ト、此
ノ二案ハ大體モウ質疑モ終ツタヤウデスカ
ラ、此處デーツ休憩シテ貰ツテ、ソレヲ協
議會ニ移シテ貰ツテ、其ノ後再開シテ貰フ
ヤウニ議事ノ進行ヲシテ戴クコトガ宜イト
思ヒマスガ……

○板谷委員長 諒承致シマシタ、實ハ私カ
ラ申上ゲヨウト思ツテ居ツタノデアリマス
ガ、北海道拓殖銀行法案並ニ金資金改正法
案ハ、既ニ質疑モ終了シタコトデアリマス
カラ、成ベク早く討論ニ入りタイト思ヒマ
ス、デアアルカラシテ諸君ノ態度ヲ御決メノ
上、出來ルダケ早く上程スルヤウニ御運ビ
願ヒタイト思ヒマス、此ノ場合昨日當委員
會ニ併託ヲサレマシタ國債整理基金特別會

他ノ要求サレタル委員ノ方ガ出席シテ居ラ

計法中改正法律案、明治三十九年法律第三十四號中改正法律案、並ニ明治四十二年法律第九號中改正法律案、之ニ對シマシテ政府委員ノ説明ヲ求メマス

○松村政府委員 本委員會ニ付託セラレマシタル國債整理基金特別會計法中改正法律案、明治三十九年法律第三十四號中改正法律案及ビ明治四十二年法律第九號中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テモ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、小額面ノ國債ヲ

割引ノ方法ニ依リ發行致シマスルコトハ、國債消化ノ一助トナリマスルノミナラズ、他面其ノ所有者ニ於キマシテハ、國債ノ利

子ヲモ併セ貯蓄スルコトトナリマシテ、時局對策上必要ナル貯蓄獎勵ノ趣旨ニモ合致致シマスル等、頗ル時宜ニ適シタル方策ト考ヘラレマスルノデ、昭和十四年度以降ニ於テ發行スル國債ニ付キマシテ、其ノ一部

分ハ此ノ方法ニ依ルコトト致シマシタル所、長期ノ國債ヲ割引ノ方法ニ依リ發行致シマスル時ハ、償還期ニ於テ一時ニ多額ノ割引差額ヲ支拂フベキコトトナリ、國債償還ノ計畫上不適當ト認メラレマスルノデ、之ヲ避クル爲國債整理基金特別會計法中改正ヲ行フノ必要ガアリマスルト共ニ、此ノ長期割引國債ノ發行ニ伴ヒマシテ、國債ノ消滅

時効ニ關スル現行ノ規定、及ビ政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ヲ買入銷却スル場合ノ、買入價格ノ決定方法ニ關スル現行規定ニ付キマシテモ、ソレト改正ヲ必要トスル部分ガアリマスルノデ、是ガ改正法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、何卒御贊成ヲ願ヒマス

○板谷委員長 暫時休憩致シマシテ、午後一時ヨリ再開致シマス

午前十一時六分休憩
午後一時二十五分開議

○板谷委員長 是ヨリ會議ヲ開キマス、臨時資金調整法中改正法律案並ニ國債整理基金特別會計法中改正法律案、明治三十九年法律第三十四號中改正法律案、明治四十二年法律第九號中改正法律案、此ノ四案ヲ議題ト致シマシテ質疑ヲ許シマス——此ノ際政府ニ資料ノ要求ヲ致シテ置キマスルガ、臨時資金調整法以外ノ法律案ニ付キマシテ、資料ノ御提出アランコトヲ要求致シマス——駒井君

○駒井委員 臨時資金調整法ノ改正ニ付テ御尋致シマス、此ノ改正案ヲ拜見致シマスト、從來國內資金ノ使用ヲ調整スル目的物ガ會社デアツタ譯デアリマスガ、之ヲ個人或ハ會社以外ノ法人ニマデ擴メヨウト云フ點

ガ、第一ノ點デアルト思フノデアリマス、私ガ御尋致シタイト思ヒマスコトハ、從來此ノ調整法ノ制限ヲ受ケテ居リマシタ會社ト、今回新ニ制限ヲ受ケントスル所ノ會社以外ノ法人及ビ個人トノ權衡ノ問題デアリマス、此ノ調整法全體ヲ拜見致シマス、

會社ニ付テハ其ノ設立ニ付テ許可ヲ受ケルコトニナツテ居ルノデアリマス、サウシテ是ハ又此ノ設立ノ許可ヲ受クベキ會社ハ、資本金二十萬圓以上ノ會社ニ付テハ許可ガ必要デアルト云フコトニナツテ居リマス、私ハ此ノ二十萬圓ト云フ所ニ限度ヲ置カレ

タ理由ヲ、先ヅ第一ニ何ツテ置キタイト思ヒマス

○相田政府委員 二十萬圓以上ト現在ハナツテ居ル譯デゴザイマスガ、御承知ノヤウニ、是ハ當初ノ勅令ニ於キマシテハ五十萬圓デアツタノデアリマス、ソレヲ昨年改正致シマシテ、二十萬圓ニ引下ゲタノデゴザイマス、初メ五十萬圓ヲ限度トシテ居ツタノデアリマスルガ、之ヲヤツテ居リマス、中ニハ四十九萬圓トカ、四十五萬圓トカ云

フ資本金ノモノガ出テ參ルト云フヤウナ事例モ生ジマシテ、斯ノ如キ現象ハ又如何カト思ハレル點モアリマスノト、更ニ此ノ資金及ビ物資ノ調整ヲ、從前ヨリモ少シク進メ

ル必要ガアルドラウト云フノデ、之ヲ二十萬圓ニ引下ゲタ次第デゴザイマス

○駒井委員 此ハ此ノ二十萬圓ト云フ額ハ、少シ少ナ過ギハシナイカト云フ感ジヲ持ツノデアリマス、二十萬圓ノ會社ノ設立ガ出來ナイト云フコトニナリマス、個人デ此

ノ會社ノ仕事スルダケノ資本ヲ集積スルコトハ、極メテ容易デアルト思フノデアリマス、今回ノ改正ニ依リマシテ、個人ニ於ケル所ノ資本ノ集積ニ付テハ、何等ノ制限ガナイノデアリマス、ソレデアリマスカラ、二十萬圓ノ會社ヲ作ル代リニ、個人デ其ノ

仕事スルダケノ資本ヲ集積スルト云フコトハ、今日ノ經濟界デハ極メテ容易デアアル、個人ニ制限ヲ置カナイノニ、獨リ會社ダケハ二十萬圓以上ノ會社ノ設立ニ付テハ許可ガ要ル、今日ノ實際ノ狀況カラ言フナラバ、中々二十萬圓以上ノ會社ノ設立ハ、特ニ必要ナルモノノ外困難デアルト云フ事情ニ在

ル、五十萬圓カラ二十萬圓ニ下グラレタ理由ハ、何トナク理解シ兼ネルノデアリマシマス、其ノ點ヲ一ツ伺ヒタイ

○相田政府委員 御尋一應御尤デゴザイマスガ、個人ニ付キマシテモ二十萬圓ノ資本ヲ集メマスコトハ、金融機關ノ手ヲ借りマセヌデハ、必ズシモ容易デアアルマイルト云

フ風ニ考ヘラレマススコトガ一ツデゴザイマス、ソレカラ事業設備ノ方ニ物資ガ使ハレルノヲ、時局ノ要求ニ應ジマシテ最モ有效ニ能率ヲ擧ゲルヤウニ調整スルト云フ爲ニハ、此ノ會社ガ資本金ヲ募集致シマシテ、之ヲサウ云フ物資ノ方面ニ向ケルト云フヤウナコトヲ調整シテ行ク必要ガゴザイマス

ルノデ、會社ニ付テハ之ヲ二十万圓ニ下ゲタノデアリマスガ、此ノ度個人ニ付キマシテモ、事業設備ノ新設、擴張、改良ニ付キマシテハ、許可ヲ受ケサセルコトニ致シマシタノニ伴ヒマシテ、會社ノ方ニ於キマシテモ、此ノ事業設備ノ關係ニ於キマシテハ、資本金ノ二十万圓以上ト云フヲ撤廢致シマシテ、全部ノ會社ニ之ヲ適用致スコトニ

方針ヲ決メテ居リマスノデ、只今仰セノヤウナ不權衡ノ點ハ生ジナイコトニナルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○駒井委員 此ノ臨時資金調整法ノ大體ノ精神ヲ考ヘテ見マスト、主トシテ生産事業ト申シマスガ、サウ云フ方面ノ資金ノ配付ニ付テ、主タル目的ヲ持ツテ居ルヤウニ思フノデアリマスガ、ソレヲ一寸伺ツテ置キタイ

○相田政府委員 個人ノ私生活ノ方面マデ臨時資金調整法ガ立入ルト云フ建前ニ

ハナツテ居リマセヌ、此ノ度個人ニ之ヲ擴張致シマシテモ、尙ホ其ノ事業設備ノ方面ダケヲ取締ル、斯ウ云フ方針ニナツテ居リマス

○駒井委員 此ノ事業設備ト云フノハ、例ヘバ工場設備ナドハ勿論ソレニ入ルト思ヒマスガ、其ノ他斯ウ云フ事業會社デナイ、建物ヲ建テルトカ云フコトモ、ヤハリ之ニ含ムノデセウカ

○相田政府委員 商事會社ガ店舗ヲ建テマシ場合ト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ勿論其ノ商事會社ノ營業ノ用ニ供スル事業設備デゴザイマスカラ、入ル譯デゴザイマスケレドモ、會社ノ二十万圓以上ト云フコトハ、ドウモ金額ガ少シ低過ギルノデハナイカ、從來五十万圓以上デアッタモノヲ今日二十万圓以上ニ引下ゲラレタノハ、ドウモ低キニ失スルヤウナ感ジガスルノデアリマス、特ニ今ノ事業設備其ノ他ニ付テハ、非常ニ廣イ意味ニ取ツテ居ラレラユウデアリマスカラ、其ノ方面デハ十分此ノ調整法ニ依ツテ制限調整ガ出來ルコトナノデアリマシテ、單純ニ資金ヲ集メルト云フ問題ダケデ、二十万圓ト云フ數字ヲ考ヘテ見ルト、

ドウモ低キニ失スルヤウナ感ジガスルノデアリマスガ、是ハ意見ノ違ヒデスカラ、其ノ點ハソレマデニシテ置キマス、次ニ此ノ改正ノ第二ノ點ハ、興業銀行ノ發行シ得ル債券ノ限度ヲ、五億圓カラ十億圓ニ引上ゲタト云フコトデアリマスガ、是ハ何カ五億圓カラ十億圓ニナサル數字ノ根據ガアルノデセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○入間野政府委員 興業銀行ノ債券發行限度ヲ、臨時資金調整法ノ改正ニ依リマシテ引上ゲマシタコトニ付キマシテハ、少シク御説明サシテ戴キタイと思ヒマス、御承知ノ通り昭和十二年ノ九月ニ臨時資金調整法ヲ施行致シマシテ以來、昭和十三年末マデニ、此ノ法律ニ依リマシテ事業設備資金トシテ使用セラレマシタ金額ノ總計ガ、四十一億千五百餘萬圓デアリマシテ、此ノ中金融機關カラノ貸付ニ依リマスルモノガ、十四億四千六百餘萬圓ニ相成ツテ居リマスルガ、此ノ中興業銀行ガドレダケノ役割ヲシタカト申シマスルナラバ、興業銀行ガ此ノ中貸出シマシタ額ガ四億九千九百萬圓デアリマシテ、約三分ノ一ニ當ツテ居ルノデゴザイマス、斯ノ如ク事變發生以來、全金融機關ノ協力ニ依リマシテ、生産力擴充資金ノ供給ハ、今マデノ所圓滑ニ運ンデ居ルト私ハ

考ヘテ居リマス、併シナガラ生産力擴充資金ノ需要ハ、將來一段ト増シテ參リマセウガ、其ノ供給ヲ圓滑ナラシメマスコトハ、現在ノ時局ニ於キマシテ最モ緊要デアルト認メラレマスノデ、政府ト致シマシテモ、資金ノ調達ニ付キマシテハ十分考慮致ス積リデアリマスルガ、結局今日マデト同様、否、更ニソレ以上ニ全金融機關ノ協力ニ俟ツ外ナイト考ヘテ居リマス、而シテ此ノ種金融ニ付キマシテハ、經驗ト技能トヲ持ツテ居リ、最モ練熟シテ居リマスル興業銀行ガ、從來通り其ノ中心トナリマシテ、此ノ方面ニ於テ重要ナ役割ヲ演ジナケレバナラナイコトモ、亦當然デアルト考ヘルノデアリマス、今興業銀行ノ貸出ノ狀況ヲ見スルノニ、昭和十三年十二月末現在ニ於キマシテ、十一億一千餘萬圓デアリマシテ、事變發生前ノ昭和十二年六月末現在ノ三億九千餘萬圓ニ比ベマシテ、實ニ七億一千九百萬圓ノ増加ニナツテ居リマス、斯ノ如ク興業銀行ハ、事變下ニ於テ其ノ使命デアリマス所ノ企業金融ノ爲ニ、非常ニ努力致シテ居ル譯デゴザイマス、然ルニ興業銀行ガ資金ノ大半ヲ調達致シテ居リマスル興業債券ノ狀況ヲ見マスルノニ、現在十億圓ノ發行餘力ニ對シマシテ、昭和十三年末現在ニ於キマ

シテ、單純ニ資金ヲ集メルト云フ問題ダケデ、二十万圓ト云フ數字ヲ考ヘテ見ルト、

シテ、單純ニ資金ヲ集メルト云フ問題ダケデ、二十万圓ト云フ數字ヲ考ヘテ見ルト、

シテハ、既ニ八億七千二百餘万圓ノ發行ヲ見、二月末現在ニ於キマシテ、餘力僅ニ一億六百餘万圓ニ過ギナイノデアリマス、此ノ額ダケデハ到底將來必要トスル生産力擴充資金供給上、重要ナル役割ヲ果スコトガ出來ナイノデゴザイマス、ソコデ事變發生後ニ於ケル事業設備資金貸付ノ狀況及ビ貸出金増加ノ趨勢ナドニ顧ミマシテ、一方ニ於キマシテハ資本ノ増加ヲ圖リ、他面ニ於キマシテハ只今御審議願ツテ居リマスル臨時資金調整法ノ改正ヲ致シマシテ、債券發行能力ノ増加ヲ圖ツタノデアリマス、即チ資本金一億五千万圓ヲ増加致シマシテ、其ノ四分ノ一ヲ拂込ミマスル爲ニ、之ニ依ツテ債券發行能力ガ三億七千五百万圓増加致シマスルシ、又只今御審議願ツテ居リマスル臨時資金調整法ノ改正ニ依リマシテ、更ニ五億圓ダケ債券發行限度ガ擴張致サレマスノデ、兩者合セマシテ八億七千五百万圓ダケノ債券發行能力ガ増ス譯デアリマス、之ニ二月末現在ニ於ケル債券發行餘力一億六百餘万圓ヲ加ヘマスルト、十億近イ債券發行能力ガ出來ル譯デアリマスルカラ、從來ノ例ニ徴シマスレバ、興業銀行ト致シマシテ、是ダケノ資金ヲ調達スルコトガ出來レバ、生産力擴充資金ノ供給上、當分相當ナル活動ガ出來ルコトト信ジマシテ、斯ウ云フ風ニ決メテ次第ゴザイマス

○駒井委員

御説明デ能ク分リマシタガ、從來ノ第六條第四項ヲ見マス「政府ハ第一項ノ規定ニ依リ發行スル債券」ト云フ文字ガ使ツテアルノデアリマス、然ルニ今回此ノ第四項ニハ「第一項ノ規定ニ依リ發行スル債券」ト云フ文字ガ無クナリマシテ「日本興業銀行ノ發行スル債券」ト、非常ニ包括的ニ書イテアリマス、是カラ見マスルト、此處ニアル所謂十億圓ノ興業債券バカリデナク、他ノ日本興業銀行ノ固有ノ債券ニ付テモ、政府ガ保證スルト云フ風ニモ取レルノデスガ、ソレヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○入間野政府委員

先程申上ゲマシタヤウニ、今回ノ増資ニ伴ヒマシテ、第一回拂込ヲ徵收致シマスル結果、新ニ三億七千五百万圓ノ債券發行力ヲ生ズルコトトナリマスルケレドモ、此ノ分ニ對シマシテモ政府保證ヲ付ケルカドウカ、只今ノ法律ノ下ニ於キマシテハ、解釋上疑義ヲ生ジマスル虞ガアリマスノデ、政府保證ヲ付シ得ル旨ヲ明確ナラシムルコトヲ適當ト認メマシテ、之ヲ改正シヨウト考ヘタノデゴザイマス、先程申上ゲマシタヤウニ、約九億近イ興業債務ノ

出テ居リマスル中デ、二億五百万圓程政府保證ノモノガアリマス、隨ヒマシテ興業銀行ノ從來ノ拂込金額ノ十倍ト、更ニ新シク増資ノ結果出テ來マス拂込ノ十倍ト合セマシテ、八億七千五百万圓、九億萬圓バカリカラ二億引キマスルト、丁度ソコノ間ニ八億七千五百万圓ニハ足ラナイ部分ガアリマス、併シナガラ興業銀行ノ債券ハ、從來公募致シマスルノ原則トシテ、政府保證ヲ付ケテ居リマス關係上、今政府保證ナシデハ中々資金ノ調達ガ困難デアリマス、而モ一方生産力ノ擴充ハ極メテ必要デアリマスルノデ、生産力ノ擴充資金ヲ獲得セシメマスル上ニ於キマシテ、政府保證ヲ付ケテヤツタ方ガ宜イ、隨テ資金調達ヲ便宜ニシテヤツタガ宜イト考ヘマシテ、十億圓ダケハ政府ガ元利支拂ノ保證ヲシテヤル、斯ウ云フコトニ致シタノデゴザイマス

○駒井委員

其ノ點ハソレト伺ツテ置キマシテ、第三條ノ自治的調整ノ問題デアリマスガ、此ノ間戴イタ資料ニ依リマスルト、金融機關ト云フモノハ、殆ド大部分自治的調整ヲヤツテ居ルヤウナ状態ニナツテ居ル、普通銀行ヲ假リニ見マシテモ、總數三百四十二ノ中三百三十七マデハ自治的調整ヲ行ツテ居ル、自治的調整ヲ行ハナイノハドウ

云フ銀行デアリマスカ

○入間野政府委員

御尤モノ御不審ト存ジマス、大體銀行ノ看板ハ掲ゲテ居リマシテモ、休業致シテ居リマスモノ、及ビ是ト同様ノモノハ、資金ノ貸出ヲシナイノデ、自治的調整ヲサセル必要ガナイ、サウ考ヘマシテ、サウ云フモノヲ除外致シタ譯デアリマス

○駒井委員

ソレデハ又一ツ前ニ歸リマシテ理財局長ニ伺ツテ置キタイ、事業ニ屬スル設備ノ新設及ビ改良ト云フ文字ヲ、非常ニ廣義ニ解シテ居ラレルヤウデアリマスガ、此ノ意味ヲ明確ニ御説明願ヒタイノデアリマス

○相田政府委員

事業ニ屬スル設備ト申シマスルノハ、其ノ事業ニ必要ナル設備デアリマシテ、相當長期ニ固定的ニナルモノト云フ工合ニ、御解釋ヲ願ツタラ宜カラウト存ズルノデアリマス先程御質問ノ中ニモゴザイマシタ商人ノ店舗デアリマストカ或ハ商品ヲ入レマス倉庫デアリマストカ、或ハ商品ヲ配給致シマス「トラック」デアルトカ、サウ云フモノハ皆其ノ商人ノ事業ノ設備ト云フ中ニ入ル、斯ウ云フヤウニ解釋致シテ居リマス、唯同ジ「トラック」デアリマシテモ、商人ガ商品ヲ御得意先ニ運ブ爲ノ「トラック」ハ事業設備ニナリマスガ、自動車

製造業者ガ拵ヘル「トラック」、或ハ販賣用ノ「トラック」ト云フモノハ商品デアツテ、

金調整法デ制限ヲ受ケルト云フコトニナルノデアリマス

事業設備デハナクナルト云フ風ナ工合ニ、同ジモノデアリマシテモ、其ノ事業ノ種類

○入間野政府委員 此ノ法律ノ制定ノ當初ニ關與シテ居リマシタノデ、所管ハ違ヒマスガ、事業設備ノ範圍等ニ付キマシテ、簡

ニ依リマシテ、或ル場合ニハ事業設備ニナ

單ニ私カラ申上ゲテ置キタイと思ヒマス、御承知ノヤウニ此ノ法律ハ、資金ト物資ト

デアリマス、ソレカラ其ノ事業ト云フノハ、大體會社デゴザイマスレバ、其ノ會社ノ目

的デ出来テ居リマスノデ、出来ルダケ事業設備ト云フモノヲ廣ク解釋シマシテ、不急不

イマスレバ、其ノ人ノ營業、大體斯ウ云フ工合ニ御考ヲ願ヒマシタラ宜シカラウト存

要ノ事業ニ屬スル設備ト云フモノハ、出来ルダケ避ケテ貰ヒタイ、斯ウ考ヘテ事業設

ズルノデアリマス

備ノ解釋ヲ廣ク見テ居ル譯デアリマス、尙ホ五方圓以上ノ設備ニ付キマシテハドウカ

○駒井委員 サウシマスト、例ヘバ例ヲ擧

ト云フ御尋デアリマスガ、金融機關カラ借リテヤリマスル場合ハ、金融機關ノ自治的

ンデ居ル會社ノ店舗ト云フノハ、事業設備

調整ニ依リマシテ、一々認可、許可ヲ受ケル必要ガナクナツテ居リマス、自己資金ニ

ニナルノデスカ

依ツテ之ヲ爲シマス場合ニハ、其ノ都度許可ヲ受ケル、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ル

○相田政府委員 製造業者ノ店舗ト云フ御

次第デゴザイマス

尋ハ、製造業者ノ工場ト云フ意味デアリマ

○駒井委員 サウシマスト、今日ノ日本ノ個人ノ商人ト云フヤウナモノヲ考ヘテ見マ

スカ、或ハ工場トソレヲ販賣スル店舗ト兼

スト、例ヘバ日本橋通リデオ茶屋ヲヤツテ居ル、其ノオ茶屋ハ店デ品物ヲ賣ツテ居ル、

建築スル場合モ、之ニ觸レルノデセウカ

スルノデ、此ノ法律ヲ廣ク國民ニ周知セシメルト云フコトニ關シマシテハ、萬全ノ策

○相田政府委員 住宅ト營業用ノ店舗ト兼

ヲ講ジタイと思ツテ居ル次第デアリマス

ネテ居ルヤウナモノニ付テハ、ヤハリ此ノ

○駒井委員 是ハ一般ニ相當影響ノアル法律デアリマスノデ、尙ホ私モ十分研究シテ

適用ノ中ニ包含セシムル積リデアリマス

見ヨウト思ツテ居リマス、併シモウツ伺ツテ置キタイコトハ、此ノ調整法ガ施行サ

○駒井委員 サウナルト是ハ非常ニ嚴格ナ

レマシテカラノ結果ト云フモノヲ、モウ少シ御説明願ヘナイデセウカ、此處ニアル材

宅ノ積リデ建テタ所ガ、是ガ資金調整法ニ引

ト、施行後ノ状態ニ付テハ、餘リヨク分ラナイノデアリマスガ、其ノ點ハ何カ材料ハ

ツ掛ツテ中止ヲ命ゼラレルト云フヤウナコ

○入間野政府委員 施行後ノ狀況ニ付キマシテハ、過日御手許ニ差上ゲマシタ表ニ付

トニナル譯デアリマス、此ノ點ハモウ少シ

キマシテ、私カラ御説明申上ゲマシタノデ、一應ノ御諒承ヲ願ツテ居ルト存ジテ居リマ

狭ク解釋スベキデヤナイカト云フヤウナ感

ス、然ラバ施行前ト比ベテドウダツタカト云フ御話デアリマス、何セ施行前ニ付キマ

ジガスルノデスカ、今ノ御説明ダト非常ニ

シテハ、十分材料ヲ蒐集スル途ヲ講ジテ居リマセヌ爲ニ、是ト比較致シマシテドウト云

廣イ意味ニ取レル、是ハ恐ラクハ五方圓ト

フコトヲ、今此處申上ゲマスコトハ非常ニ困難デアルト思ヒマス、施行後ノ狀況ニ

云フコトニ決マルダラウト思ヒマスガ、五

付キマシテハ、第一回ノ委員會ノ時ニ相當詳シク御説明申上ゲタ筈デアリマスノデ、御諒承願ヒタイと思ヒマス

方圓デハ餘リ低イノデハナイデセウカ

由ニ付キマシテハ、先程銀行局長カラ御説明申上ゲマシタヤウナ趣旨ニ於テ、サウ云

○駒井委員 何レ大臣が見エルデアリマセウカラ、其ノ時ニ又質問ヲ致スコトニ致シマス

○板谷委員長 他ニ政府委員ニ對スル質問ハアリマセヌカ——松尾四郎君

○松尾委員 私ハ一點御伺シタイと思フノデス、此ノ臨時資金調整法ノ第五條ニ、此ノ法律ノ手續ハ總テ日本銀行ヲシテ取扱ハシメルコトニナツテ居ル、今現實ニ行ハレテ居リマスノハ、日本銀行デ出スノデスケレドモ、日本銀行デ出シタモノハ、全部大藏、商工兩省ニ關係シテ居リマシテ、兩官廳ノ諒解ヲ得ナケレバ許可ニナラヌヤウニナツテ居リマスガ、此ノ日本銀行ヲ通スト云フノハ、ドウ云フ譯デスカ、現在行ハレテ居ル状態カラ見マスト、日本銀行デ餘計ニ掛ツテ居ルヤウニ考ヘマスガ、其ノ點ニ付テ御説明願ヒタイと思ヒマス

○入間野政府委員 御承知ノ通り日本銀行ハ金融ノ中心機關トシテ存在シテ居リマス

關係上、各金融機關其ノ他事業會社ナドニ付キマシテモ、接觸部面ガ官廳ヨリモ多イカト思ヒマスコトト、總テノ事ヲ役所デナケレバヤレナイト云ツテ統制方法ヲ執ルヨリモ、幾ラカ民間ト接觸シテ居ル所ヲ選ビマシテ、斯ウ云フコトヲヤルコトガ、却テ

統制ノ效果ガ圓滑ニ行クノデハナイカト考ヘマシテ、日本銀行ヲ選擇シテアリマス、只今仰セノ如ク、日本銀行ダケデ間ニ合ハヌ、大藏省及ビ商工省ニ話ヲシナケレバナラスト云フコトデアリマスガ、サウ云フコトガアリマシテハ洵ニソレハ遺憾デアルト存ジテ居リマス、大部分ノ仕事ハ、日本銀行ガ自己ノ判斷ニ於テ取扱ツテ居リマシテ、唯重要ナル案件ニ付キマシテハ、資金審査委員會ノ議ヲ經テヤツテ居リマス、其ノ資金審査委員ニハ大藏省ノ者、商工省ノ者、農林省ノ者、及ビ日本銀行ノ者ガ委員トシテ參加シテ、其ノ都度決定致シテ居ルヤウナ譯合デアリマス、而シテ此ノ臨時資金審査委員會ハ殆ド每週一回ツツ開キマシテ、受付ケマシタ書類ハ出來ルダケ一週間以内ニ片付ケタイト云フ心組デヤツテ居リマス、併シナガラ事實ノ非常ニ複雑シマシタモノ、又調査ニ手數ガ掛リマスルモノハ、或ハ多少延ビテ居ルノモアルカト存ジマスルガ、原則ト致シマシテハ一週間以内ニ片付ケタイ、斯ウ云フ心組デ、每週一回位ツツ少クトモ委員會ヲ開イテ、事ヲ處理シテ居リマスヤウナ次第デゴザイマス

○松尾委員 ソレデハ日本銀行ニ於テ御取扱ニナツテ居リマシテ、大藏省或ハ商工省

ニ諒解ヲ得ルト云フヤウナコトハ別ニナイノデアリマスカ、唯日本銀行ダケニ出願ヲスレバ、許可ヲ日本銀行カラ兩省ニ相談ヲシテ下サルコトニナツテ居ルノデスカ、其ノ點ノ扱ヒ方ガ分リマセヌノデ御尋致シマス

○入間野政府委員 松尾委員御話ノ通り、日本銀行ニ申請致シマスレバ、ソレデ結構ナノデゴザイマス、唯申請者ガ急イデヤツテ貫ヒタイトカ何トカ其ノ都合ニ依リマシテ、大藏省ナリ商工省ナリニ行カレル方モアルヤウデゴザイマスルケレドモ、手續ノ上カラ申シマスルナラバ、日本銀行ニ申請スレバ、ソレデ宜イト云フコトニ相成ツテ居リマス

○松尾委員 私ハマダ他ニ質問ガアリマシタガ、モウ少シ準備ガ足りマセヌカラ、只今御尋スルコトハ一應此ノ程度デ止メテ置キマス

○板谷委員長 他ニ政府委員ニ御質問ノ方ハアリマセヌカ——山崎常吉君

○山崎委員 私ハ法文上ノコトニ付キマシテ、一寸御聽シテ置キタイと思ヒマス、臨時資金調整法施行令ノ第六條ノ二段ニ認可、許可、免許ト云フヤウナ種類ガゴザイマスガ、認可ト許可ト免許、此ノ字句及ビ

法律ノ定義ハドウ云フヤウナ譯ナノデセウカ、一應御説明ガ願ヒタイと思ヒマス

○相田政府委員 認可ト申シマスルノハ、此ノ認可ガゴザイマセヌケレバ、效力ヲ發生シナイノデアリマス、例ヘバ増資ノ認可ト云フモノガ必要アル場合ニ、其ノ認可ヲ受ケマセヌケレバ、増資ガ無効ナノデゴザイマス、ソレカラ許可ト申シマスルノハ、或ル行爲ヲ致シマスルニ付キマシテ、行政官廳ノ同意ガ必要アル、其ノ同意ヲ許可ト申スノデゴザイマスルガ、其ノ許可ヲ得ナイデヤリマシテモ、行爲自體ハ無効ニハナリマセヌガ、取締法規ノ違反ト云フコトニナリマシテ、或ハ罰則ノ適用ノ問題ヲ生ズルト云フヤウナコトガ許可デアリマス、ソレカラ免許ト申シマスルノハ、大體ニ於テ是ハ法律ニ色々ノ言葉ヲ使ツテ居リマシテ、或ハ私ノ先程申シマシタ認可ノ意味ニ、免許ト云フ言葉ヲ使ツテ居ル法律モゴザイマスルヤウデアリマスルシ、又外ノ意味ニ使ツテ居ル法律モゴザイマス、ソレデ茲ニ認可、許可、免許ト云フ風ニ、他ノ法令ニ依ツテ使ハレテ居ル言葉ヲ列舉致シタノデアリマシテ、認可、許可ト云フ言葉ニ付キマシテハ、私ガ今申上ゲマシタ解釋モ、必ズシモ總テノ法

律ヲ通ジテサウナツテ居ルト云フコトデハナカラウト存ジマスルガ、此ノ資金調整法ニ於キマシテハ、斯ウ云フ意味ニ使ツテ居リマス

○山崎委員

ドウモ私ハ法律ノ解釋ガ分リマセヌノデ、ハツキリ致シマセスケレドモ、總テ官廳ノ認可トカ許可トカ云フヤウナ法律ノ明文ハ、非常ニ難カシイノデアリマシテ、一體認可、許可、免許、ドツチニ力ガアルカト云フヤウナコトガ疑問ニナリマスノデ、ソレデ一寸御尋シタヤウナ譯デゴザイマス、モウ一度能ク素人ニモ吞込メルヤウナ御説明ガ願ヘレバ、洵ニ結構ダト思ヒマス

○相田政府委員

臨時資金調整法デ使ツテ居リマス言葉ハ認可ト許可デゴザイマス、此ノ法律ノ方ヲ御覽願ヒタイ、例ヘバ第四條ノ第一項ヲ御覽願ヒマスト「命令ノ定ムル會社ノ設立ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ」斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、即チ命令ノ定ムル會社ノ設立ニ付キマシテハ、政府ノ認可ヲ受ケマセヌケレバ設立、効力ヲ生ジナイノデアリマス、設立ガ無効ニナルデゴザイマス、若シ是ガ「政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ」ト云フコトニナツテ居ツタトシマスレバ、設立ハ

無効デハゴザイマセヌガ、其ノ設立ノ行爲ニ付キマシテ、臨時資金調整法ト云フ取締法規ノ手續ヲ履マナカッタト云フ結果ニ對シテ、罰則ノ責任ヲ生ズルト云フヤウナコトニナルノデゴザイマス、ソレカラ許可ノ方デゴザイマスルガ、其ノ第四條ノ二項ニ

ハ「命令ノ定ムル會社左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ政府ノ許可ヲ受クベシ」斯ウ相成ツテ居リマシテ、ソコニ列擧シテ居リマスルノハ「第二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サントスルトキ」其ノ他云々トゴザイマスルガ、此ノ第二回以後ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメントスルトキハ、政府ノ許可ヲ受ケナケレバナラス、其ノ許可ヲ受ケナイデヤリマシテモ、拂込ハ無効ニハナラスノデアリマスルガ、許可ヲ受ケナカッタト云フコトデ、後ノ十七條カニアリマスル罰則デ制裁ヲ受ケル、斯ウ云フコトニ相成ルノデゴザイマス

○山崎委員

モウ一點御尋シタイト思ヒマス、昭和十二年九月十六日勅令第四百九十八號臨時資金調整委員會官制ト云フノガアリマス、ソレニ依リマス、各方面カラ委員ヲ選定致シマシテ、其ノ中ニ貴族院議員、衆議院議員、其ノ他學識經驗アル者ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、今此ノ委員

ノ中ニ、貴族院カラハドナタガ加ハツテ居ラレルカ、衆議院カラハドナタガ加ハツテ居ラレルカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、ソレカラ此ノ委員會ノ權限ハ、即チ諮問機關デアルカ、決定機關デアルカ、此ノ點ヲ御尋シテ見タイト思ヒマス

○相田政府委員

調査會ノ權限ハ諮問機關デゴザイマス、ソレカラ現在ノ委員中貴衆兩院カラ出テ居ラレマス方ノオ名前ト云フコトデゴザイマスルガ、貴族院ノ方ハ島津忠重公爵、兒玉秀雄伯爵、橋本圭三郎サン、有吉忠一サン、八條隆正子爵、矢吹省三男爵、是ダケデゴザイマス、衆議院ノ方カラ出テ居ラレマス委員ノオ方ハ川崎克サン、青木精一サン、中島彌團次サン、前田房之助サン、田邊七六サン、森田福市サン、小笠原三九郎サン、河上丈太郎サン、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、尙ホ此ノ外ニ現在貴族院議員デゴザイマシテ、委員ニ列シテ居ラレル方ガゴザイマスルガ、ソレハ議員ト云フ御立場カラデナク、或ハ民間ノ代表ト云フト云フヤウナ、其ノ他ノ意味ニ於テ出テ居ラレル方ガ尙ホオ居デニナルノデゴザイマス

○山崎委員

此ノ會合ハ必要ニ應ジテ年ニ何回カ會合ナサルノカ、或ハ定期的ニ會合

ノ日取ガ決ツテ居ルノカ、今マデニ何回此ノ調整委員會ヲ開イタコトガゴザイマセウカ

○入間野政府委員

臨時資金調整委員會ノ會合ハ、別ニ何等定メタモノハゴザイマセヌ、唯重要ナル案件ガアリマスル場合ニ御集リヲ願フコトニナツテ居リマス、例ヘバ此ノ法律案ノ改正デアルトカ、勅令ノ改正デアルトカ、事業調整標準ノ改正デアルトカ、サウ云フモノヲ致シタイト考ヘマス場合、豫メ此ノ委員會ニ御諮リシマシテ、然ル上デヤルコトニ致シテ居リマス、而シテ只今マデノ所四回開催致シテ居リマス

○板谷委員長

外ニアリマセヌカ——本日ハ此ノ程度ニ致シマシテ、明日午前十時カラ開キマシテ、北海道拓殖銀行法案並ニ金資金改正法案ニ對スル簡單ヲ質問ヲ許シテ、午後ハ討論ニ入ツテ、出來ルナラバ明日ノ本會議ニ上程シタイト思ヒマスルカラ、ドウカ其ノ御積リデ諸君ニ於カレマシテモ御意見ヲ纏メテ御臨ミアランコトヲ希望致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後二時十四分散會